

# ソーシャルプロダクツ・アワード2023の開催が決定しました！



## SOCIAL PRODUCTS AWARD 2023

ニューノーマル時代を迎え、急速に浸透したデジタルトランスフォーメーション(DX)。ソーシャルプロダクツ・アワード2023の年度テーマは、社会的課題の解決につながるDX時代の革新的な商品・サービスです。本年同様、自由テーマも募集します。7月からエントリーを受け付ける予定ですので、詳細はホームページでご確認ください。運営にご協力いただける団体・企業様も募っております。ご興味がありましたらお問い合わせください。

### 概要

※2022年2月時点の情報です。スケジュールは予告なく変更する可能性があります。

応募期間 2022年7月1日(金)～10月14日(金)(予定)

対象 生活者が購入可能なソーシャルプロダクツ(食品から住宅、旅行、金融商品にいたるまでジャンルを問わない)

応募テーマ **年度テーマ(SPA2023) DX時代の革新的なソーシャルプロダクツ**

AIやブロックチェーン、ICTやIoT、VRやAR、5G通信やビッグデータなど、デジタル技術を活用して、社会的課題を解決する革新的な商品・サービス。

**自由テーマ(毎年共通) 生活者が「持続可能な社会」づくりに参加できるソーシャルプロダクツ**

エコ(環境配慮)、オーガニック、フェアトレード、売上の一部を通じた寄付、地域の活力向上、伝統の継承・保存、障害者支援、復興支援など、社会的課題の解決につながる商品・サービス。

ソーシャルプロダクツの例

地域の未活用資源を活かしたコスメ、オーガニック&フェアトレードコットンの衣類、伝統工芸を体験できる観光ツアー、耕作放棄地で栽培された農作物を提供する飲食店、障害者の社会参加や自立につながるアクセサリ、発展途上国の貧困層を支援できる投資信託、廃棄されてしまう商品のマッチングサービスなど。

賞の発表 2023年2月(予定)

受賞商品の展示・販売会 2023年2月下旬(予定)

お問い合わせ E-mail: info@apsp.or.jp URL: http://www.apsp.or.jp/

### 組織概要

名称	一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会
英文名	Association for the Promotion of Social Products
略称	APSP
設立	2012年7月
会長	江口泰広
所在地	東京都中央区銀座5丁目12-5 白鶴ビル3F
電話	03-3248-5755
Email	info@apsp.or.jp
URL	https://www.apsp.or.jp/



### 会費について

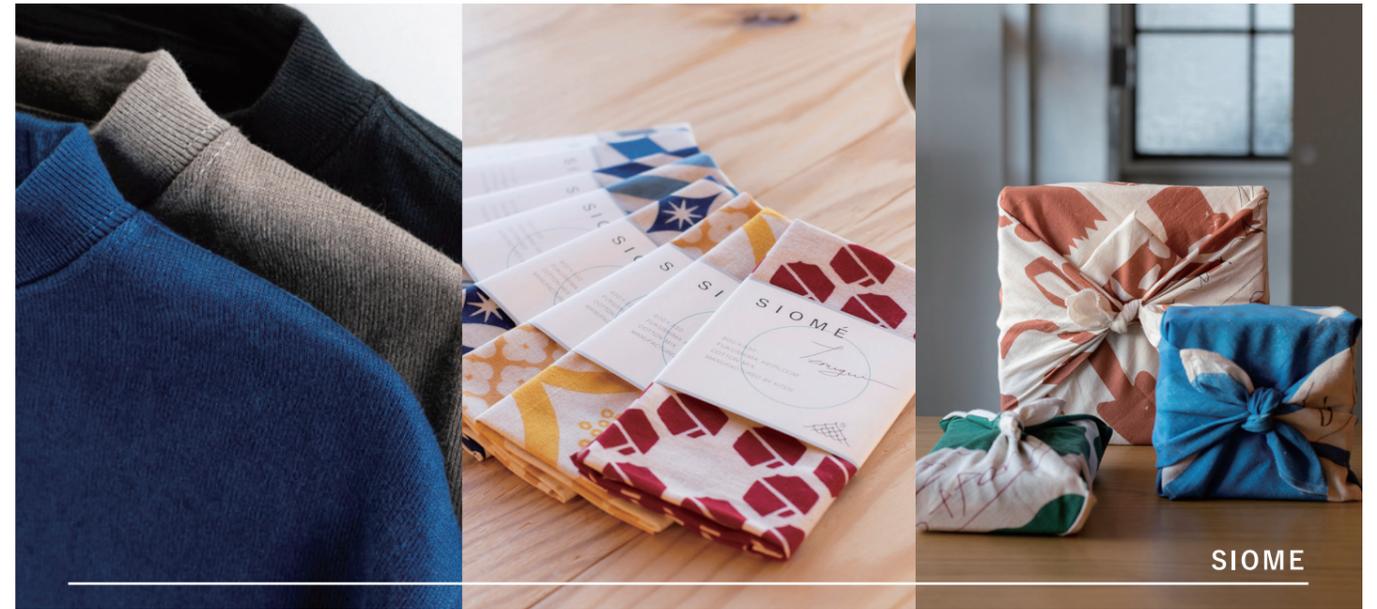
APSPの活動を支える仕組みとして、会員制度を設けております。当協会の目的にご賛同いただける企業・団体・個人の方なら、どなたでもお申し込みいただくことが可能です。

会員種別		入会費	年会費
メンバー会員(法人)	企業 従業員101人以上	無料	300,000円
	企業 従業員21人以上100人以下	無料	150,000円
	企業 従業員20人以下	無料	40,000円
メンバー会員(個人)	団体 職員6人以上	無料	40,000円
	団体 職員5人以下	無料	10,000円
メンバー会員(個人)		無料	5,000円

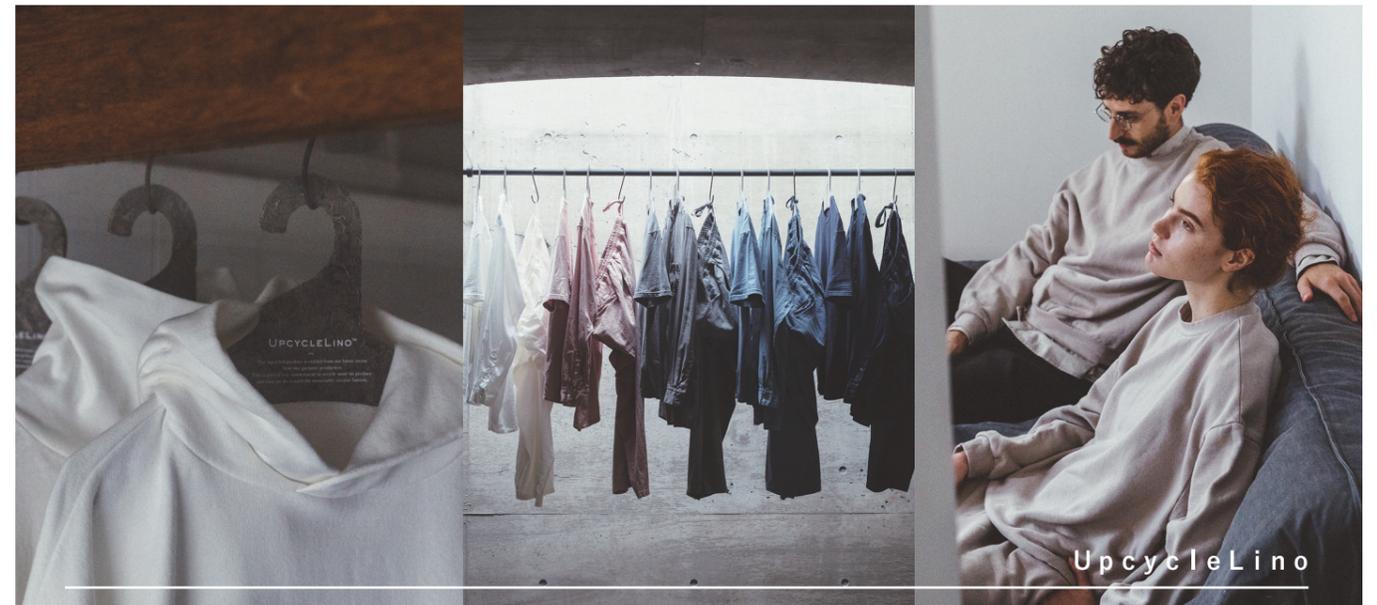
※年会費は4月1日より翌年3月末日まで。年度途中での退会の場合、会員が既に納入した年会費は、返還いたしません。

### 入会手続き

メールにて入会書類をご請求ください。info@apsp.or.jp 事務局に必要書類をご提出後ご請求書を発行しますのでご入金をお願いします。



# SOCIAL PRODUCTS AWARD 2022





# SOCIAL PRODUCTS AWARD

## ■ ソーシャルプロダクツ・アワード(SPA)とは

持続可能な社会の実現につながる「ソーシャルプロダクツ」に光をあて、社会性と商品性の両面を評価する日本で初めての表彰制度です。2012年に始まり、今回で9回目を迎えました。

## ■ SPAマークについて

ソーシャルプロダクツ・アワードにおいて大賞ならびに優秀賞・生活者審査員賞・審査員特別賞を含むソーシャルプロダクツ賞を受賞した商品・サービスに掲示されます。「社会性」と「商品性」が高いレベルで調和している商品・サービスの証です。マークは、ソーシャルプロダクツの「S」をモチーフにしたデザインです。その「S」を形作る半円は、手と手を取り合っつながるイメージで、色は、生き生きとした地球の緑と海を表現しています。

## 概要

内容 人や地球にやさしい、以下のようなソーシャルプロダクツを表彰します。

### [ エコ (環境配慮) ]

エネルギー消費が少なかったり、リサイクルした材料を使ったりした商品などで、環境への負荷が既存の同様の商品と比べて明らかに低減されているもの。

### [ オーガニック ]

農薬や化学添加物などを使用せずに栽培・加工された商品などで、環境や生産者への負荷が小さいだけでなく、安心して使えるもの。

### [ フェアトレード ]

発展途上国の生産者から適正な価格・条件で購入した商品などで、そうした人たちの自立や貧困解消につながるもの。

### [ 寄付 (売上の一部を通じた寄付) ]

売上の一部が、社会課題の解決に取り組むNPOなどに寄付されるもの (そうした寄付を通じて様々な社会課題の解決につながるもの)。

### [ 地域の活力向上 ]

地域ならではの資源を活用した商品などで、地域の活性化につながるもの。

### [ 伝統の継承・保存 ]

日本の伝統技術を取り入れた商品などで、伝統文化の保護・継承につながるもの。

### [ 障害者支援 ]

デザインや製造、販売といった、商品やサービスの開発・提供過程に、障害を持つ人々の参加を得ている商品などで、彼らの社会参加や自立につながるもの。

### [ 復興支援 ]

被災地で生み出された商品などで、被災地の復興につながるもの。

### [ その他 ]

上記以外の社会課題の緩和・解決に貢献する商品などで、持続可能な社会の実現につながるもの。

対象 生活者が購入可能なソーシャルプロダクツ (食品や住宅から、旅行、金融商品にいたるまでジャンルを問わない)

応募  
テーマ

年度テーマ(SPA2022) 「東日本大震災からの復興」につながるソーシャルプロダクツ

例 2011年3月の東日本大震災後に発売され、被災地(岩手・宮城・福島)の社会的課題の解決につながる商品・サービス。

自由テーマ(毎年共通) 生活者が「持続可能な社会」づくりに参加できる商品・サービス

例 エコ(環境配慮)、オーガニック、フェアトレード、寄付(売上の一部を通じた寄付)、地域の活力向上、伝統の継承・保存、復興支援など、何らかの社会的課題の解決につながるもの。

賞の種類

- 大賞 (年度テーマ/自由テーマ)  
応募商品・サービスの中で、最も優れた社会性と商品性を持つと認められるものに授与します。
- 優秀賞 (年度テーマ/自由テーマ)  
応募商品・サービスの中で、特に優れた社会性と商品性を持つと認められるものに授与します。
- 生活者審査員賞 (年度テーマ/自由テーマ)  
生活者審査員の評価が最も高かった商品・サービスに授与します。
- ソーシャルプロダクツ賞 (年度テーマ/自由テーマ)  
応募商品・サービスの中で、優れた社会性と商品性を持つと認められるものに授与します。

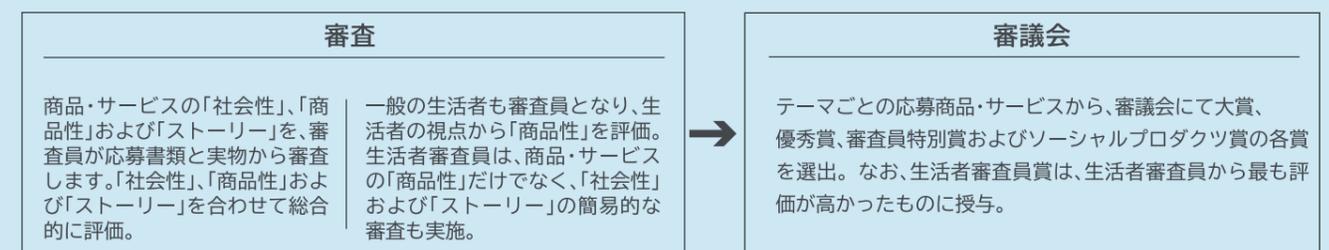
後援

経済産業省、環境省、消費者庁、復興庁、株式会社環境新聞社、一般社団法人エシカル協会、一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン、一般財団法人CSOネットワーク、サステナビリティ消費者会議、地方創生SDGs官民連携プラットフォーム、大阪商工会議所

協力

大丸東京店、株式会社SoooooS、カンパニー、株式会社YRK and、ドリームパートナーズ株式会社

## 審査方法



大賞

福島から未来へ 茶綿のオーガニックコットンブランド

SIOME

株式会社起点

CATEGORY 環境配慮,オーガニック,地域活性化,復興支援



福島の記憶に残る生業を

「綿花栽培はもとより、ものづくりのことは何も分からなかった」と話す代表の酒井悠太氏。酒井氏が綿花栽培に出会ったのは、被災地復興事業「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」だ。このプロジェクトの目的は、東日本大震災で大きな風評被害を受けた農家の一助となるため、震災前までにはなかった「新しい作物」【福島綿】を育てて流通させること。2012年、農家や県内外の企業、ソーシャルコミュニティと共同で在来種である「備中茶綿」を有機栽培し、この原料で作った商品の収益を生産者に還元するサイクルで、事業としての自立および地域創生を目指した。

福島綿を使った商品(タオルや手ぬぐいなど)の販売が始まった頃は、復興支援として購入されたが、一過性の事業で終わらせたくないと思い、いわき市から発信する新・地域産品として、2014年から商品のブランド化を進めた。福島近海の豊かな漁場「潮目の海」、コットンを通して人と人が繋がる「出会い

の潮目」、震災を転換期とした「時代の潮目」の三つの意味を込めた【ふくしま潮目】を立ち上げた。

2019年にロゴを一新したタイミングで「ふくしま」を外し、【SIOME】としてリスタート。商品は、なるべくシンプルでトラディショナルな形にこだわり、飽きがこないデザイン。オーガニック=ナチュラルのイメージに囚われず、染色やプリントなども積極的に施している。風評に影響されない福島の新しい農作物としての綿花は、商品の原材料としてだけでなく、たくさんの人を繋げるツールである。作り手と使い手が商品を通して歩み寄り、互いの生活を豊かなものに変える。この企業が掲げる「循環」には、環境のことだけではなく人の業も含んでいる。また、ストーリーのみに頼らず、作り手の技を意欲的に学び、物に落とし込んで使い手に届ける。【SIOME】はこの「循環と機能」をコンセプトに掲げたものづくりを心がけている。

商品概要

東日本大震災および原発事故からの復興を目指し、福島での綿花の有機栽培とそれらを原料としたものづくりを行っているローカルオーガニックコットンブランド。「循環と機能美」をコンセプトとし、つくる人つかう人両者の心が弾むものづくりを追求している。商品には、福島で有機栽培した在来種「備中茶綿」と海外のオーガニックコットンを混紡した糸を使用。わずしか収穫できない茶綿からは、生成り色を帯びた優しい色合いの太く丈夫な糸が作られる。原料生産からの製造はもちろんのこと、経済消費を日本国内で行うことで、持続可能な地域文化を作ることを目指している。

審査員評価

福島の記憶に残る生業をつくるという企業理念がプロダクトに上手く反映されている。共感を生む工夫やデザインのセンスが良く、欲しくなる商品としての工夫もある。オーガニックコットンという「生成り・無地」が多くなりがちだが、そこにオリジナルの柄を乗せることで、他のブランドとの差別化ができる。2012年から福島で綿花の自社栽培を継続している点が評価できる。魅力的なプロダクトであるため、商品のストーリー性やデザインのポイントなどの情報発信に期待している。

優秀賞

TEZKURI MARCHE - ART 『ジビエ鹿革 ルームシューズ』手づくりキット

一般社団法人手づくりマルシェ

CATEGORY 環境配慮,地域活性化,復興支援



商品概要

農林業被害を防ぐために駆除された天然の鹿革を使用しているルームシューズ。自分だけの特別なルームシューズが作ることができ、おうち時間も楽しめる「手づくりキット」を販売。通気性が良いさわやかなルームシューズは、素足で履きたくなる柔らかさ。ジビエ鹿革を使用することで、捕獲駆除される野生動物の命を活かす。自然とヒトと繋がりを感じるきっかけをつくり、「人と環境にやさしいサステナブルな社会」を目指す。

審査員評価

ルームシューズの素材にジビエ鹿革を使用している点は独自性が高く、一枚革でシューズにするデザインも素晴らしい。布製品を手作りしたことはあっても、革製品を手作りしたことがある人はあまり多くないはず、体験としても面白い。つくれる魅力を提供することで、商品の意味や価値などをより実感しやすくしている。質感が良く、色の組み合わせや風合いもお洒落で、洗練されているプロダクト。

生活者  
審査員賞

地域資源メカジキの角(吻)を利用したジーンズ

有限会社 オイカワデニム

CATEGORY 地域活性化,復興支援



商品概要

宮城県気仙沼市で廃棄されてしまうメカジキの吻を活用した糸から開発した世界初のジーンズ。メカジキの吻を形成している成分リン酸カルシウムは、肌に触れると保湿性が高まる。また、メカジキの吻を炭化し、それを顔料として染色に使用することにより防臭・防菌効果がある。デニム地は、使い込めば使い込むほど綺麗な色落ちとリン酸カルシウムの効果で生地全体が柔らかくしなやかになることが特徴。素材が全てオーガニックであるため、使用後は全て土に還る環境にもやさしい商品。

審査員評価

「メカジキの吻を活用したジーンズ」という着想がユニーク。ほかにない商品で、気仙沼のPRにもつながる。未利用資源であるメカジキの吻を超微粒子にして紡績にする独自の技術を保有。被災者の雇用、未利用資源の活用、すべてが土に還る天然素材の採用など、それぞれの活動を経て生み出されたメカジキの吻という素材が、デニムの質を上げている、すばらしい商品。

# ソーシャルプロダクツ賞



## The sea

一般社団法人Nr.12(としびプロジェクト)

**商品概要** | 東日本大地震で被災した人々の「震災を忘れないでほしい」という願いから生まれたキャンドル。2011年に国内外で蠟燭を灯す「としびプロジェクト」を開始。2012年には宮城県気仙沼市にキャンドル工房を設立し、自社プロダクト「The sea」を製作。地域の雇用創出にも貢献している。  
キャンドルの素材は、結婚式場や寺院の廃棄予定のロウを回収し、マテリアルリサイクルして活用。気仙沼市の海岸をイメージしたデザインのキャンドルには、被災地の海とリサイクルに関心を持って欲しいという想いが込められている。



## sharefun®

有限会社プラスチャージング

**商品概要** | オーガニックコットンで作られた「もっこふんどし」。「ふんどし」というお祭りのイメージが強い日本古来の下着を、「就寝時のリラクスイウェア」に変換。ゴムや化学繊維を使用せず、自分のウエストサイズで調整できるため、締め付けが一切なく肌に優しい。また、生地の特性上、就寝時の汗をよく吸い、すぐ乾かしてくれる。生産は東日本大震災で被災した工場にのみ依頼。商品の発送は長野県の就労支援事業所に依頼することで、「関わる人が全員ハッピーになる循環」を目指している。



## 宮城被災地ママが 畳職人に挑む お洒落バッグ

いっしープロジェクト

**商品概要** | 東日本大震災で被災したママと子どもに笑顔を届けるために生まれた内職プロジェクト。畳と畳ヘリを使ったサコッシュと呼ばれる小さめの肩さげのバッグとお揃いの小さめバッグを手掛けている。畳の伸縮性により驚くほどの収納力を持っており、軽く、踏まれても傷みにくい丈夫な作り。限りなくシンプルで、畳とヘリの組み合わせを選ぶ楽しさがデザインの特徴。消え行く日本の伝統「畳」を守り、ファッションと融合させている。畳バッグ作家KUNIYA様より技術支援とデザイン提供を受け、被災地のママが職人の腕を身につけて作成した商品。



## カシミア天使の葉

株式会社ユーティーオー

**商品概要** | 自社のカシミア素材を使用して、社員が一枚一枚手作りにしている。2011年10月、カシミアニット工場を山梨から岩手へ移転したことを機に、企業市民として岩手の被災者のお役に立ちたいと考え、2012年から天使の葉を作成、販売している。毎年、売上金の中から一枚につき100円を北上市に寄付。本業で販売するカシミア商品のラインナップの一つとすることで、持続性のある販売・寄付を可能にした。寄付を増やす為、全国の美術館や博物館、ホテル、旅館、本屋等でも販売している。



## 南三陸町から生まれる 国産材ノベルティ

フロンティアジャパン株式会社

**商品概要** | 国産の間伐材(主に杉・ヒノキ)を活用した実用的でスタイリッシュかつ温かみのあるノベルティグッズ。2012年、宮城県南三陸町で立ち上げられた工場、東日本大震災の復興支援と日本の森林や木材産業の活性化を目的に展開された商品である。  
ノベルティの発注を通じて、被災地の雇用創出にも貢献している。デザインにこだわりつつ、森林保全、復興支援、地域活性化に繋がるコンセプト・ストーリーを重視して、幅広いお客様に共感してもらえるようサービスを追求していく。



## ふっくら布ぞうり

一般社団法人あゆみ(ふっくら布ぞうりの会)

**商品概要** | ふっくら布ぞうりは、腕利きの職人が、綿100%の布を使ってひとつひとつ丁寧に美しく仕上げる高品質の室内履き。ほとんどが一点もので個性的。たくさんの布を使って目を詰めて編んでおり、土台に厚みがあるため、足を包み込むふっくらとした履き心地を味わえる。足指を使って履くため、指の筋肉が鍛えられ、外反母趾や扁平足など足のトラブルが改善する健康アイテム。  
東日本大震災の仮設住宅におけるコミュニティや生きがいの創出、経済的支援を目的としている。陸前高田市、石巻市のふるさと納税返礼品にも採用された。



## ハウスカート

一般社団法人東北マハロファクトリー キラ・ウエア

**商品概要** | 東北復興ブランド「キラ・ウエア」では、東日本大震災で津波の被害にあった福島・岩手・宮城の縫製工場や工房で、フラダンスの衣装やハワイをテーマにした雑貨などを販売。地域の雇用促進を目指している。  
メイン商品であるフラダンスのハウスカートは、ブランド立ち上げから一貫して、被災地3県で作り続けている。適正報酬をモットーとしているため、他社よりも商品価格は高いが、細やかな工夫を加えることで品質の高い商品を提供。かつて縫製が盛んだった頃の東北を目指し、復興に向けて活動していく。



## Fのえんぴつ・Fのピンバッジ 休校の想いを未来へ

福島県立ふたば未来学園 中学校・高等学校

**商品概要** | 東日本大震災の影響で休校となってしまった福島県双葉郡内の5校の想いを引き継ぐために製作された学校名の焼き印を押したえんぴつと、校章をかたどったピンバッジ。特徴は1本1本手作りにあること、県産材を使用していること。環境配慮にもこだわり、商品を固定する台紙は、本校の中学生が給食の牛乳パックと地元のミカンやユズの皮を原料にした紙を使用。商品名の「F」には、福島県、双葉郡、復興、復校、復活、ふるさと、フューチャーなどの意味が込められている。  
東日本大震災の記憶を風化させないよう、休校になった学校を伝え、これからの世代にも双葉郡の存在を知ってもらえるように販売活動を継続していく。



## 南三陸ミシン工場のミシンを通じたソーシャルプロダクツ

特定非営利活動法人南三陸ミシン工房

**商品概要** | 東日本大震災後、被災した女性たちを支援するために立ち上げられた南三陸ミシン工房では、ミシンで一つ一つ手作りされたトートバッグやポーチなどの布製品を販売。また、障がい者の皆さんが手織りした生地や手漉し紙を使った布製品や、バン格拉デシュのノクシカタ刺繍を使った商品も製造・販売している。  
障がい者の方々も製作したふなっしーグッズは、売上の一部を「みちのく未来基金」に寄付。ミシンから生まれた商品を通じて、多くの人と繋がりがながら、南三陸町のことを伝えていきたいと願っている。



## iriser

株式会社小高ワーカーズベース

**商品概要** | 東日本大震災に伴う福島第一原発事故で避難指示区域となってしまった南相馬市小高区に、若者が「やってみたい」と思える魅力的な仕事をつくることを目的に立ち上げられたオリジナルアクセサリーブランド。仕事を失った女性たちが、ガラス職人となり、繊細な技術を駆使してガラスアクセサリーを生み出している。ガラスには鉛が入っておらず、体に優しい素材を使用。材料となる耐熱ガラスは加工がしやすく、梅の花びらや波紋など、小高ならではのモチーフを繊細なデザインで表現している。



## 気仙椿シリーズ・三陸椿ドリームプロジェクト

ハリウッド株式会社

**商品概要** | 三陸の気仙地域で採れる良質な椿油に着目し、東北産の椿油を世界へ発信するため、国産自然派化粧品「気仙椿コスメ」を開発。陸前高田の障がい者福祉施設を中心に、地域のみなさんと気仙椿の種を集めている。  
「地域の文化と産業を継承しながら、生産者と消費者がつながる優しい事業、商品をつくりたい」という想いから、消えかけていた伝統と技術によって作られた商品。売り上げの一部は、椿の植樹、被災地を中心とした若者や女性の経済的自立支援、起業家教育に活用している。



KOMONOIRE

Gluten Free Treats

【商品概要】 東北の復興地域の仕事創出を目的とした「東北グランマの仕事づくり」プロジェクトを通して縫製されている布製小物入れ。生地には、人と環境に優しいオーガニックコットン（JOCA基準適合品）を採用しており、1商品につき2 円の支援金が被災地や各地域の綿花の有機栽培に関連する活動の支援のために寄付される。「KOMONOIRE」は布製のため、高さを自由に調節できるほか、不要な時は畳んで保管でき、古くなればフキンとしても活用できる。最後まで活用することで、ごみ削減に繋がることを期待。日常使いのオーガニックコットン商品を通して、人権・環境問題や復興支援について考え、行動するきっかけになることを願っている。



コッペのフェアトレードクッキー

特定非営利活動法人 麦の会

【商品概要】 障害のある人も共に働く場「コッペ」を運営。コッペでは東北産の小麦と安心できる材料でクッキー・パンを製造。また、フェアトレードで輸入された原料を使用している商品も展開。具体的には、フィリピンの黒砂糖（マスコバド糖）を使ったネグロスクッキー、パレスチナのオリーブ油を使ったオリーブオートミールクッキー、中南米やアフリカの小規模生産者が育てた原料から作られたコーヒーを使用したコーヒークッキーなど。障害のある人に少しでも多くの賃金を払いたいという思いと、自分たちの技術で少しでも社会に貢献したいという思いが込められている。



アンリ・シャルバンティエ  
「スマイルフォー東北-フロム芦屋」

株式会社シュゼット・ホールディングス

【商品概要】 東日本大震災で被災された方々のために立ち上げた、お菓子を通した東北支援プロジェクト。「東北の方々の力になりたい」という想いと、それに対するお客様の共感を東北支援に生かす取り組み。定数よりも1個分の焼き菓子を減らした詰め合わせを、お客様には正価でご購入いただき、生じた差額を募金費用としてお預かりする。そして募金総額と同額を自社からも寄付し、復興支援団体の活動や、被災された学生の夢を応援する奨学金として活用している。



花BOX 東北六花

株式会社シフラ

【商品概要】 全農東北プロジェクトとのタイアップ企画商品。新型コロナウイルス感染症で花きの需要が落ち込んだことから、東北の生産者の支援を目的に展開。花BOXの中身は全て東北産地の花で組み合わせられたもの。切花の品質に対するネガティブなイメージを払拭する為に、WEBで注文が確定した後に仕入れ、発送を行うスキームを構築。また、これまでのギフトを中心とした完成品の展開から、あえてアレンジを加えるひと手間を楽しむ要素を加えた高品質の花「素材」を提供。東北六花の企画を通じて東北の花きの消費拡大を支援していくとともに、花BOXのサービスを通じて新たな花きの需要創出にも貢献していく。

年度テーマ

審査員



伊藤 房雄

【Profile】

岩手県花巻市生まれ。北海道大学大学院農学研究科博士課程修了。1991年東北大学農学部助手、同大学院農学研究科助教授を経て、2010年より現職。専門は農業経済学。東日本大震災による被災地の農業・農村復興に取り組む。

【Comment】 .....  
東日本大震災の発災から10年が経過。原発事故で未だ多くの住民が帰還していない地域の復興はこれからが正念場。被災地の資源を活用した商品開発や地元雇用を創出する取組、人材育成はとても大事な活動。それがビジネスとして利益を生み出し、その利益を更なる活動の発展に投資し続けていくことがなによりも大切。これからもソーシャルプロダクトを応援していきます！



高橋 博之

【Profile】

株式会社ポケットマルシェ代表取締役、東北食べる通信創刊編集長、日本食べる通信リーグ代表。岩手県花巻市出身。岩手県議を2期勤め、東日本大震災後の岩手県知事選に出馬し、次点で落選後に事業家へ転身。「都市と地方をかきまぜる」を掲げ、生産者と消費者をつなぐ取り組みを展開している。

【Comment】 .....  
クリエイティビティ、イノベーションのスタートは、頭ではなく心にあると僕は思っています。応募された方々の多くは、何かに心を揺さぶられ、プロダクトに表現した素人。頭からスタートするプロにはない素朴な訴えがありました。種火を燃やし続けてください。



玉村 雅敏

【Profile】

慶應義塾大学 総合政策学部 教授、内閣府地域活性化伝道師。専門分野はソーシャルマーケティング、コミュニティ論など。全国の地域や領域、企業にて、生活価値や地域課題、豊かさなどを関係者が協働で「みえる化」と「共有化」を行い、さらなる協働・共創を促す社会システム構築やプロダクト開発を支援している。

【Comment】 .....  
より良い未来を見据えて、人々とのつながりや協力などを生み出しながら、さまざまな試行錯誤や挑戦のもとで開発されてきたソーシャル・プロダクトが集まっていました。それぞれ、示唆に富む工夫もあり、ぜひ、注目をしていただければと思います。



飛田 恵美子

【Profile】

フリーライター。2012年から「震災後に始まった東北の手仕事」取材し、2019年に小学館から書籍『復興から自立へのものづくり』を出版している。  
<http://www.cotohogu.com/>

【Comment】 .....  
審査をするなかで、東北の方々が震災後どんな課題にどう向き合ってきたかを知ることができました。背景に共感する商品を選んで使うことは、暮らしを豊かにすると思っています。今回のアワードを通して、良質なつくり手と使い手の出会いがあることを願っています。



矢島 里佳

【Profile】

株式会社和える代表取締役。2011年「日本の伝統を次世代につなぐ」和えるを創業。"0歳からの伝統ブランドaeru"を立ち上げ、日本全国の職人とオリジナルの日用品を販売している。

【Comment】 .....  
一つひとつの商品に、想いが詰まっているのが伝わってきました。しかしながら、思いだけでは続かないところもあるので、商品デザインの魅力を高めることが大事だと感じました。ただ物を買うのではなく、想いに投票する時代。ソーシャルプロダクトが当たり前になるといいなと思います。



渡邊 智恵子

【Profile】

(株)アバンティを設立後、海外や日本で活躍。経済産業省、日本を代表するソーシャルビジネス55選や、NHK仕事の流儀に出演。現在は(一財)森から海へ、(一社)CCFの代表理事を務める。

【Comment】 .....  
SPA2022を振り返り来年に期待するのは、「商品として本当に売れるのかどうか？社会のニーズに答えているのか？」ということ。そのあたりの検証をもっと熟慮した方が良いのではと思う商品が少なからずありました。今私たちが最も大事にしなければならないのはゴミにできない、長く使えるものを作ることです。物余りの現状です。作り手は環境のことを視野に入れてほしいです。

# 大賞

## 裁断くずを捨てずに、再び服に。

# UpcycleLino

株式会社ネキスト

CATEGORY 環境配慮,オーガニック,フェアトレード,地域活性化,伝統保存



### 30%もの生地の裁断くずをなんとかしたい

「うちが使っている生地は上質な天然繊維。反毛し再度紡績して糸にできるはず」。さらに「疲弊している産地への想いも大いにあった」。そう語るのは、【UpcycleLino】チーフディレクターの北之坊敏之氏だ。年々環境問題がクローズアップされ、世界の異常気象が目に見える形で現れてきている。また、アパレル産業は、世界的に製品在庫の焼却処分など環境負荷が非常に高い産業と捉えられている。そこに身を置く立場として、何か環境配慮型の取り組みができないかと日々考える中、以前から必ず原反の30%程度は出る裁断くずに着目した。そこで誕生したのが、循環型サステナブルプロジェクト【UpcycleLino】だ。

もともとセレクトブランドのOEM受注の縫製メーカーであったが、ファストファッション台頭による低コスト化で、海外との価格競争の波に抗えず、会社存続の危機もあった。同じような状況が産地にもあり、機屋、染色整理業などの廃業・倒産も相次

いだ。この状況を打開するために、2000年代に自社ブランド【nest Robe】と【CONFECT】を相次いで立ち上げた。自信のある本業の縫製で、国内の産地のクオリティーにこだわった生地を使い、長年蓄積してきたパターンノウハウを生かし、天然繊維のみの、着心地にとことんこだわったブランドで勝負した。このブランドは、売れるものを売れる量だけ製造することにもこだわり、なんと最終消化率は98%。「このサステナブルな実績の土壌があったから【UpcycleLino】を世に出せた」。裁断くず活用での最大の苦労は、裁ち屑の混入率の調整。再生を繰り返すと、繊維長が短くなり糸強度が保てない。産地工場と試行錯誤の結果、混率30%に行き着いた。各社のノウハウの結集で完全なサーキュラーエコノミーが完成した。

今後は同業他社とも同様に取り組み、業界全体で日本のものづくりの素晴らしさを未来につなげていこうとしている株式会社ネキスト。これからの取り組みにも多めに期待が持てる。

#### 商品概要

服の製造過程で出た裁断くずを色別、混率別に細かく分別。分別された裁断くずを株式会社ナイガイテキスタイルにおいて反毛し、バージン綿をつなぎに紡績し糸に戻す。その糸を浜松で製織、和歌山で編立して生地に戻し、再び自社がその生地で作る服を製造する完全なサーキュラーエコノミーを完成させた。同時に、産地をつなぎ、疲弊した産業の一助になることを目指した取り組みである。

#### 審査員評価

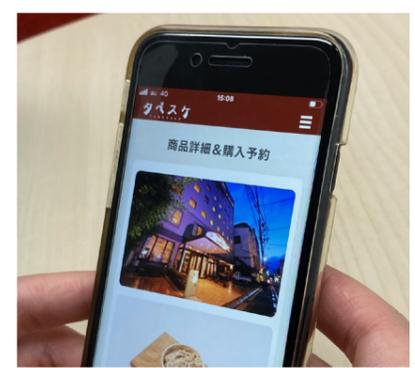
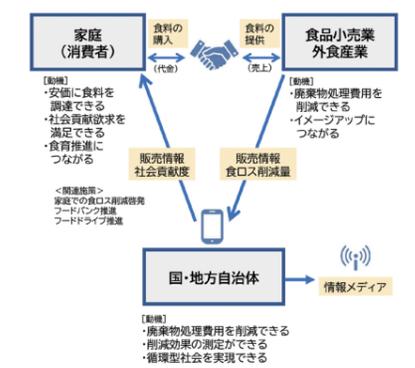
廃材であることをプラスに生かす、まさにアップサイクルのお手本のような商品。ゴミをゴミとしてみない、新しいアイデアが生まれるきっかけにもなるデザインであり、持続可能な社会づくりに向けた生活者啓発・行動変革を促す起点となる。「リユース」に着目した製品ゆえ、製造時のエネルギー使用量削減など様々な面において、環境への効果が期待される。

## 優秀賞

# 食品ロス削減マッチングサービス「タベスケ」

株式会社 G-Place

CATEGORY 環境配慮,地域活性化



#### 商品概要

サービス対象となる自治体内の食品関連事業者が「食品ロスになりうる食品」をシステム上で安く出品し、それを一般ユーザーがお得に購入予約できるサービス。サービスを通して、①一般ユーザーに対しては食品を安く提供、②食品関連事業者に対しては、提供した食品による利益の発生や食品廃棄物処理費用の削減、③対象自治体に対しては自治体内の食品ロスおよび廃棄物量の減少と廃棄物処理費用の削減、食品ロス関連の統計データ収集といった多くのメリットが見込まれる。また、一般ユーザーおよび食品関連事業者は無料でサービスを利用できる。

#### 審査員評価

コロナ禍の食品ロス問題を解決に導くサービス。消費者、自治体、事業者など関連のある人々すべてにメリットとなるシステムで、食品ロス削減に抵抗なく積極的に取り組んでもらえる。食品ロスの実態や法律などの制度についてホームページで発信しており、信頼性も高い。さらに食品ロス削減効果のデータを可視化させていて、消費者啓発や行動変革に繋がっている。機能性の向上や新機能搭載に向けたバージョンアップを進めており、サービスの質向上にも期待。事業は始まったばかりのため、参加自治体や協力店の増加が重要となる。

## 生活者 審査員賞

# ベジソルト

えひめ活き生きファーマーズ株式会社

CATEGORY 環境配慮,地域活性化,復興支援



また来年も頑張ろうと思う



#### 商品概要

愛媛県産の野菜をまるごと使い、伯方の塩とミックスしたオリジナリティのある商品。西日本豪雨(平成30年7月豪雨)で大量の野菜破棄を経験した農家さん達を救出したいという思いから、野菜・柑橘を活用した商品開発を開始。商品化を進めるにつれて、食品ロスという深刻な問題に直面。流通されず破棄されてしまう規格外品を有効に活用し、丹精込めて作った農作物が無駄にならず、新たな商品価値となるよう、事業に取り組んでいる。

#### 審査員評価

規格外や災害に合った地域からの野菜を無条件で買入れ、農家さん達の深刻な食品ロスの問題を解決する魅力的な商品。しっかりと野菜の香りや味がしており、品質も高い。商品化に「塩」を採用した点も独自性が感じられる。消費者の行動の変革も期待される。

## ソーシャルプロダクツ賞



## RE:PET

株式会社ビコーズ

**商品概要** | 世界中の海などから廃ペットボトルを収集し、資源化した再生生地によって新しく作られた傘。約3本の使用済みペットボトルから1本分の傘が生まれ出され、環境に配慮した循環型社会の実現に貢献する。日本だけでも毎年1億本以上が消費される傘。1本の傘を長く使用してほしいという願いから、風に強く壊れにくい構造や、UVカット加工を施すなど機能面にもこだわった商品。

環境にも子どもにも優しい新時代の  
スクールバッグ「NuLAND」

合同会社RANAOS

**商品概要** | 循環型リサイクルポリエステル生地で作られたランドセル。リサイクル生地で作ったランドセルは環境に優しいだけでなく、使う子どもの体のことを考え軽量かつ機能性を重視。製品の販売だけでなく、子どもの荷物を軽くするための置き勉を推奨するための運動「ラン軽プロジェクト」の署名活動もSNSを通して行っている。

Pa.d Banana Leaf Product  
名刺入れ

Rela株式会社

**商品概要** | タイ北部のバナナ農園から廃棄されていた枯れた葉を買い取り、全てハンドメイドで一つひとつ丁寧に製作。天然の葉をそのまま使用しているため、どんなシーンでも自然を感じられる。捨てられるはずの枯れたバナナの葉という無価値だったものに価値を与えた、軽量で耐久性もあるアップサイクル商品。人と社会・地球環境・地域の活性化を考慮している。

海を渡った着物・帯が美しい  
ドレスや靴に生まれ変わりました

EDYA1929 FASHION DESIGN

**商品概要** | 不要になった着物・帯を素材として使用し、ドレスや靴、カバンなどデザイン性の高い商品に生まれ変わらせる。祖母から母へ、母から娘へ。家族から大切に受け継がれた着物を一枚一枚丁寧に仕立て上げ、家族の歴史・日本文化の伝承に取り組む。トレンドに合わせた服を安価で大量生産するファストファッションは、環境破壊を加速させる。そして、その裏で低賃金で重労働を強いられる多くの人々の存在も忘れてはならない。「EDYA1929」は、必要とされる限られた数をトレンドにとらわれず作り出し、日本の素晴らしい着物文化の伝承と、自然との共存を図っている。

サステナブルブランド  
「ecuvo,」(エクボ)

株式会社フクシン

**商品概要** | 手袋の一大産地として有名な香川県東かがわ市で生まれたサステナブルブランド。自然に優しい素材にこだわり、再生素材や天然素材を使用。編み立て時にはゴミを出さない独自の製法で商品を作る。モノを大切に長く使っていただくことが、一番環境に優しいこと。この考えのもとに、飽きのこないシンプルなデザインを採用し、商品が破れたりした際は無料で修理を行う保証を提供している。愛着のある手袋・靴下の片方を無くしたときに、もう片方を捨てて新しいものを買うのではなく、最後までその商品を使用できるよう、「片手片足販売」も実施する。



## SALASUSU

特定非営利活動法人SALASUSU

**商品概要** | "Enjoy Your Life Journey"をコンセプトにファッション雑貨を製造・販売するカンボジア発のファッションブランド。農村部に工房兼学校を持ち、周辺に暮らす最貧困層家庭出身の女性たちに教育と雇用を提供している。商品には一点一点商品ラベルが添付され、染織から品質チェックまでの製造工程を担当した作り手の名前と出席番号が記されたスタンプが押印されている。女性たちが学びの過程でライフスキルと自信を身につけ、やがてそれぞれの未来に向け卒業していく。商品は主にカンボジア・日本・台湾で販売され、商品の購入が教育機会と雇用の創出につながっている。

SILK WARMER  
(シルクウォーマー)

株式会社WRAY

**商品概要** | 女性のバイオリズムに着目したセルフケアブランドによるシルク100%パンツ型腹巻。生理前・生理中・妊娠中・妊活中などの時期は体を温めたいと感じる女性が多いもの。天然繊維であるシルクは、肌へのやさしさ・保温性・吸湿性・通気性等の面で優れるだけでなく、数千年前から使用されている実績のあるバイオベース材料。また、着心地と地球環境を考え、ゴム糸(多くはポリウレタン等の合成繊維)を一切使用していない。極細のシルク糸を丁寧な技術で編み上げ、「透けるほど超薄手」なシルク生地を実現。従来の腹巻によくあるもたつき・着膨れ感を解消し、ストレスフリーな着心地を実現。

大人のための携帯食専用  
エプロン「eptenu(えぷてぬ)」

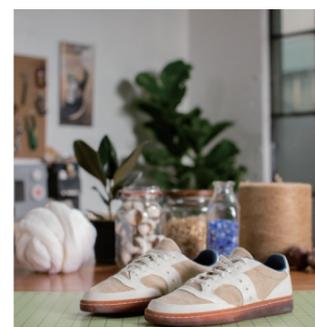
株式会社プチポヤージュ

**商品概要** | 女性が仕事と家庭を無理なく両立できる社会を実現するためのプラットフォームメディアの企画・運営会社によって作られた、携帯食専用エプロン「eptenu(えぷてぬ)」。軽量で、5秒で着脱できる手軽さ、手ふきや汗ふきとしても利用可能など多くの機能特性がある。繰り返し洗って使うことで、紙エプロンや紙ナプキンの代替品となり、ゴミの削減にもつながっている。100年以上の歴史を持つ「捺染(なっせん)」技術を現代のニーズと問題解決に応用し、子どもたちの未来に日本の伝統技術とサステナブルな社会を手渡すことを目指す。

廃棄柿を活用した『柿渋染め』  
消臭&抗菌商品ブランド~kakikko~

ビッググロウス株式会社

**商品概要** | 日本の伝統染料「柿渋」の「消臭・抗菌力」を生かした柿渋染め衣類ブランド。今まで廃棄されていた柿の摘果材を原材料として活用することで、環境への負荷を軽減しながら、地域産業の活性化を目指す。オーガニックコットンを綿から染める独自技術により、綿と柿渋の長所を兼ね備えたマスク・靴下・ベビー衣類などを開発した。化学品の普及によって衰退していった「柿渋」の伝統文化を将来へつなげ、人にも自然にも社会にも良い商品を作り続けている。

JAZZ COURT RFG  
(RUN FOR GOOD)

SAUCONY JAPAN

**商品概要** | 業界初となるプラスチックを一切使用せず、生分解性素材のみを使用し製品化させたシューズ。コットン、ジュート、ウール、天然ゴム、ユーカリの木、そして2種類の植物クチナシとビートの合計7つの天然素材のみを使用。本体だけでなくシューズボックスに対しても生分解されやすい100%リサイクル性の段ボールと大豆インキを採用している。

世界の歴史を旅する  
Rafaello

株式会社Frank PR

**商品概要** | 革製品の製造加工販売を通じ、国境を越えた多様な人材とともに循環共生型の社会を創出。バングラデシュの提携工場では、シングルマザーの雇用を推進。国内の業務も、委託会社と協力し、全国のシングルマザーを含む女性のみでの稼働を実現。さらに検品チームでは、聴覚障害をもった方が活躍している。また創業より7年間、利益の一部を社会課題の解決のために寄付している。



### 廃棄される使用済み漁網を アップサイクルした鞆

一般社団法人Alliance for the Blue

**商品概要** | 様々な業種の協働企業と連携し、海洋プラスチックゴミの主な原因である漁網を回収。それらをマテリアルリサイクルし、再生生地(漁網配合率25%)を開発。兵庫県鞆工業組合がその生地を活用して、鞆を製造している。漁網の回収から、再生ベレット製造、紡糸、紡織、そして鞆製造にいたるまで、バリューチェーンを構成する各社の協働によって、高い品質と経済合理性を両立している。



### AIRPAQ 車の廃材から 生まれたバッグ

株式会社三栄コーポレーション

**商品概要** | 利用価値がなくなった車の廃材を再利用し、別の商品を生み出すことでごみを削減し、新たな価値の創造を目指す、ドイツのアップサイクルブランド。ブランド創立の2017年から2021年の間に使用した車の廃材の数量は、エアバッグで42,683点、シートベルトで48,019点におよぶ。エアバッグやシートベルトの耐久性を活かし、機能性の高いバッグを生み出している。



### kikirico

kikirico

**商品概要** | 吉岐の島の魅力ある様々な自然物を使った再生をテーマとしたアクセサリブランド。島の方々との交流の中で、変わりゆく海の変化を痛烈に感じ、一つひとつのストーリーを、オーケストラのように届けたいという思いからスタート。飲食店から出たアワビの殻やパロックパールなどを使用し、その奥にある自然の儚さや、かけがえの無さを届ける。売り上げの一部は、一般社団法人JEANに寄付している。



### DEER HORN JEWELRY

ALIMANO

**商品概要** | これまでジュエリー素材では使われることのなかった鹿の角を、ファッション性・アート性を兼ね揃えた素材に研磨。自然の産物が持つ造形美を幾何学的形状のデザインに落とし込み、金箔・染色等の工芸技法を施し、唯一無二のジュエリー作品に仕上げた。鹿の角の白を基調とし、自然の美と森や動物への敬意・共生の大切さをそっと感じてもらえるよう工夫した商品。



### T-shirt Upcycle yarn iTTo

WAcKA

**商品概要** | 廃棄される運命にあった新品のTシャツを、新しい資源やエネルギーを極力使わず、手作業で手芸系にアップサイクル。そのほとんどの工程は、福祉施設にて行われている。編み物をするすべての方と共に、編み物を楽しみながら衣料品廃棄の削減に取り組む。簡単に、何でも、安く手に入る時代に、自ら作る体験を通して、本当の物の価値を知り、大切に長く使う消費マインドを体感できる商品だ。



### さとうきびから生まれた エシカルデニム

株式会社Rinnovation

**商品概要** | さとうきびは沖縄の基幹農作物であり、世界では年間約19億トンが生産されている。そのうちの約3億トン占める製糖時の搾りかす「バガス」を資源と捉えてアップサイクルし、独自素材を開発。その素材を活用して生まれた、循環性・持続性のあるジーンズ。生産工程の環境負荷も低減している。世界で石油産業に次ぐ環境汚染産業と言われるアパレル産業の課題解決や、地方創生を目指した商品。



### SOL.ティーシードスキンケアオイル / SOL.茶実油バーム

たねのしずく研究所

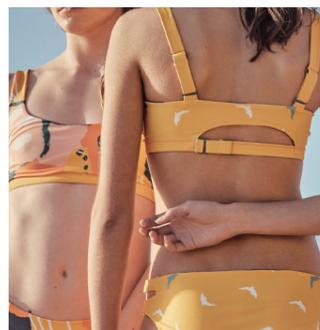
**商品概要** | 国産茶実油100%のスキンケアオイルと、茶実油とニホンミツバチミツロウだけで作る保湿クリーム。耕作放棄茶園に生る茶の実を低温圧搾で自家製油。放棄茶園を資源化し、茶実買取が地域の高齢者の意欲向上・現金収入につながっている。就労支援施設との協業も利用者の経済的自立に貢献。高いビタミンE含有量と肌になじむ脂肪酸組成やテクスチャーをそのまま生かしたナチュラルスキンケア化粧品。どちらも(一社)ナチュラルライフ&ビューティーアソシエーションの「リアルオーガニック・ナチュラル®」コスメマークを取得している。



### HUG BROWNE エスプレッソ・ボディショット

株式会社OGICO

**商品概要** | 日本で初めてコーヒーの出がらしをアップサイクルして作られたボディスクラブ。マイクロビーズの代わりに、エスプレッソの出がらしをマッサージ剤として配合。コーヒーを抽出し捨てられてしまう運命だったゴミを「資源」としてとらえ、新たな命を吹き込んだ商品。パーム油由来の原料を使う企業の責任として、売り上げの1%をボルネオ島の動植物を守る活動に寄付している。



### boochen -Caparica リバーシブルビキニ Painting/Dolphin Print-

DoitoNi / boochen

**商品概要** | 素材の81%がリサイクルポリエステル、残りの19%はエラストタンで構成されているビキニ。これらの繊維は紫外線から肌を守り、通常の水着よりも5倍長く使用することが可能である。また、好きな色と形を組み合わせることにより、オリジナルのスタイルを楽しむこともできるため、新しい水着をシーズン毎に購入する必要もなくなる。自然界や海のプラスチック廃棄物を減らし、リサイクルや資源の利用などの課題に対して、長期的に持続可能な解決策を見出している。



### 人や環境に配慮した洋服だけを 届けるセレクトショップ

Enter the E

**商品概要** | 人や環境に負荷をかけ続ける消費の状況を解決に導くセレクトショップ。これまでの消費や選択を見直し、服作りは持続可能な産業へ生まれ変わらなければならない一方、オーガニックやリサイクル素材の採用、作り手の経済的支援、公正取引などに取り組む洋服は一般化されていない。「Enter the E」では、人や環境に配慮しながらも、幅広いデザイン・良品質・経済性を兼ね備えた洋服を世界中から日本向けに35ブランドほどキュレート。環境汚染やエネルギーの枯渇、製造者の責任を考えながら作られたアイテムを取り揃え、幅広い層へサステナブルな衣生活を提案。



### 地域まるごとデザイン

株式会社バース・プランニング

**商品概要** | デザイナーとしての感性を活かし、椿油を使ったオリジナル化粧品の企画・開発、商品デザイン、販売まで一貫して取り組む商品。佐賀県最北端の離島「加唐島」は日本書紀にも記されるほど、数多くの天然のヤブ椿が自生している。島民の手仕事で作られる椿油は非常に高い品質を誇るが、島では少子高齢化が進み、椿油を生産する担い手が減少。歴史ある地域資源が失われるという厳しい現状を打破するため、地域全体を巻き込み、島民と共に地域の魅力を見つめ直した。



### スキンピース

株式会社グラフィコ

**商品概要** | 無添加と保湿力にこだわりを持ったボディケアブランド。成分設計だけでなく、手触りや使い心地にも配慮し、肌あたりがやさしいテクスチャーを目指す。シアバターを生産して化粧品原料にすることで発展途上国に産業を作り、生産者の自立と雇用を支援する活動に取り組む。



### 華密恋

株式会社SouGo

**商品概要** | ジャーマンカモミールの持つ力に着目し、あらゆる方の健康に向けて生まれたスキンケアブランド。有機JAS認定の自社農園と国内の契約農家で、農薬や化学肥料を用いない環境負荷の少ない農法で栽培された国産カモミールを使用。配合成分もオーガニックな原料にこだわった商品。製造工場のある長野県のカミツレの里では、100%再生可能エネルギーを使用。減反政策で耕作放棄地となった土地での循環型農業による原料栽培は、農業振興や環境保全にもつながっている。カミツレの里内では日本初・ピオホテルジャパン認証取得の宿「八寿恵荘」を運営。また30回以上にわたりイベントカミツレ花まつりを開催し、地域の活性化にも貢献している。



### TAEKOサンスクリーン

伯東株式会社

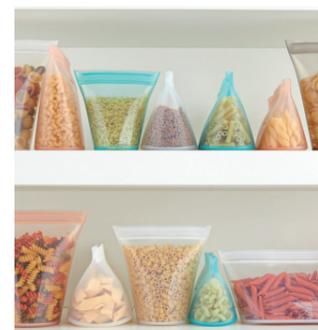
**商品概要** | サンゴ白化の原因となる紫外線吸収剤不使用のサンスクリーン。アルカリゲネス産生多糖体の乳化テクノロジーにより、界面活性剤も不使用で環境負荷がない。SPF50+ PA++++と高機能でありながら、石鹸で落とせて赤ちゃんでも使える「人にやさしい=地球にやさしい」商品。パッケージも随時見直しをしており、プラスチック使用量を削減し、パラス紙使用のものへ現在リニューアル中。フィジーでのサンゴ保護活動のサポートも行っている。



### カンタン補修シリーズ

株式会社KAWAGUCHI

**商品概要** | 衣類などの布製品や、ソファや傘などの身の周りの物を手軽に補修することができるシリーズ。針と糸を用意して縫うのではなく、アイロンやシール貼り付け、接着剤などを用いる簡単な作業。老若男女を問わず裁縫の知識がない人や裁縫が苦手な人でも、衣類や生活用品の破れや穴の空いた箇所を簡単に補修することができる。



### Zip Top(ジップトップ)

株式会社ワイ・ヨット

**商品概要** | 繰り返し使用可能な保存容器で、使い捨てのプラスチックバッグに代わる画期的な商品。ジップトップを使うことで、不要なプラスチックゴミ削減を実現。BPA、鉛、フタル酸エステル、PVCを使用していない素材のため、アレルギーを引き起こしにくく、小さな子どもやアレルギー持ちの方も安心して利用できる。また、商品を通じて、消費者に環境問題改善に対する意識作りの役割を果たしている。



### 希少価値の高い「チュニジア産」のカクタスオイル美容液 アドゥマンブースターオイル

株式会社LUCKMAN

**商品概要** | 世界最大のサハラ砂漠を有するチュニジアの過酷な環境下で育ったウチワサボテンの種子から、一年に一度だけ抽出されるオイルのみを使用。1tのウチワサボテンからわずか1ℓしか抽出できないため、「奇跡のオイル」と呼ばれるほど希少価値の高いオイル。現地従業員の80%以上が農村地域に暮らす女性。チュニジアの経済成長への貢献、貧困改善、雇用創出に取り組むことで、心豊かに暮らせる明るい未来に向けた環境や社会への貢献を目指す。



### SOUSUKE石鹸・SOUSUKE入浴剤

合同会社ほうせき箱

**商品概要** | 環境負荷の低い自然栽培による柿葉生産を行い、原料をより良い形(製茶・塩蔵)で加工。体力的な負荷のかかる果樹ではなく、高齢者でも継続できる柿葉生産は、小規模ながらも雇用を生んでいる。柿の葉ずしの包材以外では、健康茶の用途しかなかった素材に、機能性を見出し商品化することで大きな可能性が広がった。



### BAMBOO TOOTHBRUSH Series

BALIISM Japan株式会社

**商品概要** | 使い捨てプラスチック製品を減らす取り組みが社会的に求められている背景から、日常的に使われる消耗品の歯ブラシに注目。プラスチック素材の代替として天然竹を使った歯ブラシを開発した。持ち手部分は100%天然素材から作られているため、使い終わったら土に埋める事ができる。その後約2ヶ月かけ自然に還り、やがて植物を育てる養分となるため、最後までゴミにならない。「自然から生まれ、自然に還る。」というコンセプトを元に作り上げた商品。



### 肉球型パッケージ「NUCO(ヌコ)」

株式会社 TP東京

**商品概要** | 社会貢献のできるテイクアウト容器をテーマに開発された肉球型パッケージ「NUCO(ヌコ)」。素材は環境に配慮された紙製(パルプモールド)で、プラスチックゴミ削減に役立つ。形状はユニークな肉球型でありながら、ごはんを美味しく見せ、お料理の詰めやすさも考慮した設計。また、容器1つが購入されるごとに、1.2円が動物愛護団体へ寄付される仕組みを設けている。



### asunowa

オルディ株式会社

**商品概要** | 「明日のために。環境問題に、新しい答えを」をテーマに、asunowaプロジェクトを2019年に発足。バイオマス材料を用いたポリ袋の製造販売や清掃活動などを行っている。2020年度からは、廃棄プラスチック問題への対応として、資源循環(サーキュラーエコノミー)を実現させ、再生ごみ袋を商品化。気候変動対応や資源を有効活用した環境配慮型商品の普及を目指している。



### 布でつくる みつろうラップ

株式会社KAWAGUCHI

**商品概要** | みつばちの巣から採れる「ろう」を布地に染み込ませて作る食品用のラップ。みつろうには、抗菌・保湿効果があるとされており、食品の鮮度を保ちながら包むことができる。さらに、洗って繰り返し使うことでプラスチックラップの使用を減らすことにもつながっている。布地+みつろうのセットと、自分の好きな布地を使って作れるみつろうのみの2種類のラインナップを展開。制作時間は約10分で、誰もが気軽にエコラップづくりを楽しむことが出来る商品である。



### rik skog(リークスクグ)エシカルハンガー

株式会社山櫻

**商品概要** | ハンガーの芯材に100%リサイクルペーパーを使用し、化粧紙にFSC認証紙を使用している。化粧紙には、日本で初めてフェアトレードペーパーの認証を受けたバナナペーパーを使用するラインナップもあり、アフリカザンビアの貧困問題の解決にも取り組む。紙製のためプラスチック反対、脱プラの取り組みと思われがちだが、このハンガーをキッカケに「豊かさ、サステナブルとは何か」考えて欲しいという想いが込められている。作る人・贈る人・使う人の様々な笑顔を演出する洋服と一緒に、幸福の「福」もかけるハンガー。



### PENON

株式会社ペノン

**商品概要** | 書くだけじゃない「身につけるエシカル文具」。メガネ・ネクタイ・フックを模した装飾が特長の本商品は、森林認証された木材を使用し、環境対応を追求したファッションブルなボールペン。サステナブルであることだけが特徴の商品は広がりがあるというリサーチから、ソーシャル性だけでなく、見た目のデザインや新しさと消費者が購買することを目指した。プラフリーの包装や替え芯の回収など、環境への配慮が数多く盛り込まれている。



## GREENPAN(グリーンパン)

株式会社ワイ・ヨット

**商品概要** | 特許取得している「サーモン™・セラミックノンスティックコーティング」を起用した、クックウェア業界のパイオニアブランド。こびりつきにくく熱伝導に優れたセラミックコーティングは、いつもの料理を美味しく素早く仕上げてくれる。さらに、鉛やカドミウムを含まず、「永遠に消えない物質」と呼ばれる「PFAS」を一切使用していない。環境や人体へ影響を与えない安心なブランドである。

あなたの考えた花の形が  
ゴルフティーに「かんざしてーII」

信州吉野電機株式会社

**商品概要** | 地中の細菌の働きにより、水と二酸化炭素に分解される「生分解性プラスチック」を採用したゴルフティー。環境にやさしく「楽しい、かわいい、使いやすい」という付加価値を加えた製品開発を通して、海洋汚染に繋がる廃プラスチック問題の解決に貢献していく。2021年夏、「あなたの考えた花の形がゴルフティーに」企画を通じて一般公募。人気のあった4つの花(ヒマワリ、バラ、ハイビスカス、ダリア)を元に、新しいゴルフティー「かんざしてーII」を創った。



## 「JAPANプライドポテト」シリーズ

株式会社湖池屋

**商品概要** | 「日本の誇り」である風土・文化やそれらが生み出す素材を「湖池屋プライドポテト」に込めて発信する「湖池屋JAPANプライドプロジェクト」から誕生した商品。2018年2月から始動し現在は、宗像、小豆島、今金、神戸、金沢、熊本の全国6地域にて商品化されている。地域とともに地域の抱えるテーマに取り組み、商品を通じた地域貢献(課題解決)につなげる商品として展開。



## 柿葉を使用した茶・調味料

合同会社ほうせき箱

**商品概要** | 環境負荷の低い自然栽培による柿葉生産を行い、原料をより良い形(製茶・塩蔵)で加工。体力的な負荷のかかる果樹ではなく、高齢者でも継続できる柿葉生産は、小規模ながらも雇用を生んでいる。柿の葉ずしの包材以外では、健康茶の用途しかなかった素材に、機能性を見出し商品化することで大きな可能性が広がった。体に大きな負荷をかけず、日々の食として柿葉を体に取り入れることで、医療のリソースが限られた地域社会において、購入者の健康増進にも寄与している。



## Chipolo One Ocean Edition

Blue Green Group株式会社

**商品概要** | 「音で置き忘れを知らせる」ヨーロッパ発のスマートアクセサリー。海洋プラスチック問題に着目し、原材料に漁網等を使用したりサイクルプラスチックを使用した環境に優しいアイテムである。専用アプリをダウンロード後、スマートフォンとペアリング。アプリの地図上に落とされた場所を表示したり、携帯電話からChipoloを鳴らして探し物を見つけたりすることもできる。一定距離以上離れると音で知らせてくれる「紛失アラート」搭載で、無くしものを未然に防いでくれる。

共創チームKANOWAの  
「紀州プレミアム生レモンケーキ」

株式会社コンフォート

**商品概要** | レモンの生産者、障害者福祉事業所、パティシエ、そしてデザイナーなど、オール和歌山のメンバーによるチーム「KANOWA」が手がける共創スイーツ。味の要になるレモンパウダーと濃縮果汁の加工は、社会福祉法人一峰会の就労継続支援B型事業所「あすなろ」が担当。KANOWAの取り組みは障害者の雇用創出と工賃向上に貢献。またケーキに使われるレモンは、全て市場に出回らないB級品農産物を活用するため、食品ロス問題の解決にもつながる。



## ポカプロ習慣

ハリウッド株式会社

**商品概要** | 人生100年時代、男女とも年齢と共に必要性が増すたんぱく質を簡単に補給できる健康食品。60代から骨格筋量の減少は加速する。減少を抑えるためには筋肉量の維持・増大が必要であり、そのために食事で良質なたんぱく質を摂取する必要がある。たんぱく質が不足すると、高齢者は筋肉が衰え、運動・認知機能が低下しやすくなると言われ、世界的にもニーズが高まっている。本商品は、病院や介護施設などと連携し、利用者の栄養改善にも協力している。

「SOY PROTEIN beauty」  
(ソイプロビューティ)

ハリウッド株式会社

**商品概要** | 創業96年となる化粧品メーカーが研究開発した、女性向けのソイプロテイン。100%植物由来にこだわり、人工香料や人工甘味料などをすべて省いたヴィーガンフレンドリー商品。いわゆる筋肉をつけるためのプロテインではなく、女性の美容と健康のために考え抜かれた商品となっている。また、パッケージには環境に配慮した素材も使用されている。



## ポタジェ・ライス(Potager Rice)

野菜ダイニング 菜宴

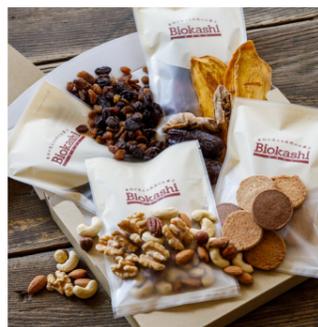
**商品概要** | スープで食べるご飯、美味しい非常食がコンセプトのポタジェ・ライス。化学調味料や保存料は不使用で、低カロリー・高タンパク質のレトルト食品。非常時でも自分の子どもや家族には栄養価のある物を食べて欲しいとの思いで開発された商品。その売上の一部は、福祉施設などの子ども達の支援にもあてられている。



## TT and Field

株式会社FUNPANY

**商品概要** | フードロスの削減、地域ブランディング、美味しく健康に良いもの、という3つのこだわりがコンセプトのECサイト。規格外食材でつくられたこだわりの商品を販売している。生産農家には目標ややりがいを持って商品を作るきっかけ、ユーザーには価値のあるこだわり商品を購入するきっかけを提供し、両者を結び付ける新たな場づくりを目指している。



## Biokashi アソートBOX

アルファフードスタッフ株式会社

**商品概要** | 有機素材を国内の有機認証工場加工したオーガニックのお菓子のブランド。有機素材の生産者、有機加工工場ならではのこだわりや課題について、ブランドファンとのコミュニケーションを重ねる中で挙がった声に応え、BiokashiアソートBoxを開発・販売した。アソートBoxは、Biokashiで扱うすべての商品とこだわりを楽しめる内容。専用販売サイトも立ち上げ、誰もが気軽にオーガニックのお菓子を手に取ることが出来る環境を創出した。

「コープサステナブル」  
海の資源を守るシリーズ

日本生活協同組合連合会

**商品概要** | 「サステナブルな農林畜水産物およびそれらを主原料とするコープ商品(プライベートブランド)」を「コープサステナブル」シリーズとして2021年春より展開開始。MSC/ASCなどの水産認証ラベル付きコープ商品は、共通ロゴ「コープサステナブル」の下に「海の資源を守る」のメッセージを入れ、消費者が売場でサステブル・シーフードを「見つけて選びやすく」した。



社会復帰を目指すワイン

株式会社BottleTokyo

【商品概要】 障害者支援施設や後継者のいない農家が育てるぶどうを使用したナチュラルワイン。施設利用者は、育てたぶどうがワインとなり、お客様から直接評価をいただくことでモチベーションのアップ&社会復帰に向かう。耕作放棄地、豪雨土砂崩れ跡を葡萄畑に転換し、環境に配慮した持続可能な減農薬での栽培を推進。醸造は天然酵母、酸化防止剤などを使用しない、身体に優しいワイン。過疎化に向かう広島県大和町を創出し、雇用を生み出す。



WOMEN'S TEA(ウィメンズティー)

株式会社WRAY

【商品概要】 女性のからだを考慮してブレンドされたオーガニックハーブティー「WOMEN'S TEA」。黒豆×ルイボスをベースに5種類のハーブをブレンド。人と地球を考え、使用したハーブは全て有機JAS認証。ノンカフェインで、添加物・遺伝子組み換え作物は不使用。ティーバッグはトウモロコシから作られた植物由来のメッシュフィルターを使用しており、使用後に土に埋めて加水分解され、さらに微生物によって完全に分解される。またパッケージにはバイオマス素材を使用。



トイサブ!

株式会社トラーナ

【商品概要】 乳幼児向けおもちゃ・知育玩具の定額制サブスクリプションレンタルサービス。年間6万トンものおもちゃが日本で廃棄されている(株式会社トラーナ試算)という。大量生産・大量廃棄の現状の課題解決を目指し、2015年11月にサービス開始。2か月ごとに6点(満4歳以上は5点)のおもちゃの交換が可能で、おもちゃは専門研修を受けたスタッフがクリーニングする。メンテナンスチームも自社で組織しており、一つのおもちゃを長く利用できるよう取り組んでいる。



きじま

株式会社 きじま

【商品概要】 神奈川県横浜市創業の和食店。現在は市内を中心に6店舗や、ケータリングや百貨店での物販事業を展開。「美味しい和食と豊かな海を、未来もずっと。」をスローガンを掲げ、伝統的な和食文化の継承と、豊かな環境資源の持続可能な利用の両立を目指している。「きじまオーガニックチャレンジ」と題し、全食材の調達に関して安心安全とサステナビリティの基準をHPで掲示するほか、「MSC-CoC認証」「ASC-CoC認証」「FSCプロジェクト認証」(一部店舗)等も取得している。



ラオスの女性が中心でつくる世界に向けたクラフトラム酒づくり

株式会社シクリエイティブインターナショナル

【商品概要】 2006年より東南アジア・ラオスの女性を中心にラム酒づくりを行う現地唯一のクラフトラム酒ブランド「LAODI」。自社農園で栽培する無農薬さとうきびを原料に、現地の果実など特有の風土を存分に活かしたラム酒づくりに取り組む。国際的品評会も多数受賞。ラオスの豊かな自然を守るため、商品づくりにおいて化学肥料や農薬、化学添加物を一切使用しない。LAODIを通じ、ラム酒やラオスを知ってもらおう"はじめの1本"となる身近なブランドを目指している。



生ハニージンジャー

株式会社VOREAS

【商品概要】 国産の有機(オーガニック)原材料にこだわった「ノンアルコール健康ドリンク」。高知産の生姜、広島産のレモン、北海道産の唐辛子を、同じく北海道に自生する蝦夷山桜の酵母で発酵させた商品。ジンジャーオールとカプサイシン、さらにビタミンCによる抗酸化作用で、体内の酸化による老化や動脈硬化の予防が期待できる。甘味には190種の酵素とGI値28のVOREASアカシア蜂蜜を使用し、血糖値が気になる方も安心して楽しめる。



椅子ソファの張替サービス ~循環型社会に向けて~

株式会社Re-fa

【商品概要】 椅子やソファは古くなれば捨てるというサイクルを変えるべく、キレイにして再び長く使うための張替業を行う。ものを捨てない「もったいない」精神から、端切れのリメイクや商品開発、そして環境に配慮し、オーガニック生地を使った張替にも取り組む。「モノを捨てる時代」から「循環する時代」への転換に貢献。



CRAFTAL

株式会社Culture Generation Japan

【商品概要】 美味しい一品は、美しい一皿で。サブスクリプション型で、伝統工芸品の食器を飲食店やご家庭へお届けするサービス。月額定額制にて価格を気にすることなく、日本全国の多様な工芸品和食器や作り手と出会う環境・仕組みを新しく生み出した。作り手と使い手を繋げ、伝統工芸品の認知機会の創出と生活の中での接点の創出を目指す。



東ティモール産フェアトレード コーヒー ドリップバッグ

麗澤中学・高等学校 SDGs研究会「EARTH」

【商品概要】 東ティモール産のフェアトレードコーヒーのドリップバッグ。ドリップバッグのデザインを担当しているのは全て中高生。千葉県柏市の麗澤中学・高等学校のSDGs研究会「EARTH」の部員生徒で考案。「特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン」のフェアトレードで取引された東ティモールのコーヒー豆を使用し、その豆を地元の「自家焙煎珈琲 茶珈香」で焙煎している。



朝日生命の介護・認知症保険

朝日生命保険相互会社

【商品概要】 生活者にとってより身近な問題となっている「介護・認知症」に関する不安を払拭すべく、公的介護保険制度に完全連動した各種「介護・認知症保険」を提供し、社会保障制度を補完する。充実した各種保険によって、生活者それぞれの介護ニーズに対し幅広い選択肢を提供している。



キットガレージ「木のこころ」

和眞嘉傳株式会社

【商品概要】 地球への環境負荷を極力抑えながら、地域の林業活性化や製材・大工・木工仕事の技術保全に貢献できる製品。常陸太田の木材を地元の製材所および職人で製品化する地域密着型生産である。原料の長距離運搬による、石油エネルギー利用を起因としたCO2排出を削減。処分する際も、環境負荷の少ない木材と塗料を使用しているため、土に還すことができる。



New コアラマットレス/ コアラファブリックベッドフレーム

Koala Sleep Japan 株式会社

【商品概要】 コンフォートレイヤー(最上部のフォームレイヤー)の上下を裏返すことで、自分好みの硬さを選べる設計が特長。日々の徹底的な顧客リサーチのもと、日本人好みの硬さを追求し、その中でも選りすぐった異なる2つの寝心地を選択できる。WWF(世界自然保護基金)とのパートナー提携のもと、マットレスの売り上げの一部がコアラおよび生育環境の保護に役立てられる。ベッドフレームは使用時の安定性が高く安眠をもたらすだけでなく、角度のあるヘッドボード、クッション性のあるヘッドボードおよびサイドフレーム、ヘッドボード裏の収納スペースを備え、サステナブルな素材で構成された、最小限の大きさにデザインされた簡単組み立ての商品。

# 自由テーマ 審査員



エバンズ 亜莉沙

[ Profile ]

エシカルコーディネーター、Prettysimple Studio Co. デイレクター。エシカル協会主催フェアトレードコンシェルジュ認証を21歳で取得。現在フリーランスで『サステナブル』や『世界に自分に優しいライフスタイル』をキーワードに、SNSを中心とした発信、イベントへの登壇や、様々なプロジェクトのディレクター / コーディネーターを務める。

[ Comment ]

様々な角度から「ソーシャルグッド」な取り組みをしている企業やブランドさんの想いを知ることができ、とても貴重な経験となりました。これからの未来に残って欲しいプロダクトはどんなものなのか、改めてたくさん考える機会をいただき感謝しています。ぜひ今後、より矛盾や妥協のない審査基準や方法が定まることを期待しています。



遠藤 祐子

[ Profile ]

株式会社メディアジーン 編集部門執行役員。2015年11月より現職。2019年よりMASHING UP編集長として「インクルーシブな未来を拓くメディア&コミュニティ」を起点とした発信、イベント運営を統括。2021年2月よりLifehacker [日本版]編集長を兼任している。

[ Comment ]

SDGsで表されるような社会課題の解決にあたるプレイヤーが、ビジネスをリードする企業にシフトしているように思います。企業はその事業に倫理性を問われる機会も増えビジネスにヒューマニティを求める流れもあります。消費者と社会課題をつなぐソーシャルプロダクトが果たす役割もこれまで以上に大きくなってきているのではないのでしょうか。今季の応募プロダクトの数の多さと領域の広がり社会のニーズの高まりを感じました。



古谷 由紀子

[ Profile ]

(一財)CSOネットワーク代表理事、サステナビリティ消費者会議代表。SDGs、ビジネスと人権等サステナビリティに関わる活動のほか、国や企業の委員会等に参画している。

[ Comment ]

年々、ソーシャルプロダクトの幅が広がっていると感じます。人々の熱いサステナビリティへの思いが、広くビジネスや生活に生かされ、よりよい社会につながっていくことを期待しています。



増田 明子

[ Profile ]

専修大学商学部教授。専門はマーケティング(キーワード:商品開発、エシカル消費、ボランティアシンプリシティなど)。著書に『MUJI式 - 世界で愛されるマーケティング』(日経BP)。

[ Comment ]

特に地域の特性・素材・歴史的背景を活かしたモノづくりに、とても共感し、応援したいと思います。生産から消費、廃棄のプロセス内に、自社と顧客だけでなく地域を巻き込んで、ビジネスとしての規模を拡大していただきたいと思います。



高橋 義則

[ Profile ]

ユニバーサルデザイン総合研究所代表取締役社長。価値開発プロデューサーとして、新たな社会構造に適合する事業計画や各種企画立案と実施、コンテンツ制作を担う。

[ Comment ]

新型コロナウイルス感染症は人の価値観に大きな変化をもたらし、遠い世界の出来事が自分の身近な生活環境と密接につながっていることを知らしめた。第三者の役に立つソーシャルプロダクトは必ず自分に戻ってくる。その萌芽を感じたソーシャルプロダクト・アワード2022の審査であった。



原田 さとみ

[ Profile ]

エシカル・ベネロープ(株)代表 / 一般社団法人 日本フェアトレード・フォーラム代表理事 / 一般社団法人 日本エシカル推進協議会理事 / JICA中部オフィシャルサポーター。フェアトレードタウン運動を全国に展開。エシカル・ファッションショーやトークショーを企画運営、エシカル消費推進事業を行う。

[ Comment ]

未来への影響に責任を持ちつつ、消費者を喜ばせてくれる商品やサービスで、社会の課題解決を目指す出品がとても魅力的にクリエイティブされていてワクワクいたしました。廃材を再資源化するアップサイクルや製造の段階から循環型のサーキュラーエコノミーの取り組みなどの導入で、社会や地域の課題解決に貢献されていること、素晴らしいです。ソーシャルプロダクトで大事なことは、自社だけで解決するのではなく、地域や他者とのパートナーシップで共に取り組むことであると感じました。



三柴 淳一

[ Profile ]

民間企業勤務、青年海外協力隊(ガーナ派遣)を経て2004年からFoE Japanスタッフ。違法伐採対策強化・促進、環境社会配慮木材「フェアウッド」の利用促進を通して、森林減少・劣化の抑制、持続可能な森林経営促進に寄与すべく活動している。

[ Comment ]

今年もたくさんの素晴らしいソーシャルプロダクトに出会うことができました。年々応募商品・サービスの取り組みレベルも上がり、応募数も増え、時代の変化を感じます。さらなる飛躍のために、今後は原材料の環境・社会・人権配慮、サプライチェーン管理など一層の情報開示を期待します。

過去受賞企業

大賞



Happy Elephant 洗たくパウダー  
サラヤ株式会社

優秀賞



She with Shaplaneer  
特定非営利活動法人シャプランール=市民による海外協力会

大賞



QUON(クオン)  
株式会社 クレコス

優秀賞



COTTON NOUVEAU  
IKEUCHI ORGANIC株式会社  
[旧池内タオル(株)]

大賞



BEN & JERRY'S アイスクリーム  
BEN & JERRY'S(ベン&ジェリーズ)

優秀賞



楽膳  
合同会社 楽膳

大賞



NALUQ コスメライン  
株式会社フブの森

優秀賞



SISAM COFFEE  
有限会社シサム工房

大賞 国内部門



越前打刃物  
越前ブランドプロダクト・コンソーシアム

大賞 国際部門



フェアトレード・チョコレート  
フェアトレードカンパニー株式会社

大賞 国内部門



もりのともだち  
チエモク株式会社

大賞 国際部門



love Lotus Bean to Bar & Raw  
チョコレート  
株式会社ロータスコンセプト

大賞 年度テーマ部門



セロテープ®  
ニチバン株式会社

大賞 自由テーマ部門



SARAYAハンドラボ  
手指消毒スプレー・ハンドジェル  
サラヤ株式会社

大賞 年度テーマ部門



障がいのある人が描く文字や絵柄をフロント・パターン化したパブリックデータ「シブヤフォント」  
渋谷区 / 専門学校桑沢デザイン研究所 / 株式会社フクフプラス / 渋谷区内の障がい者支援事業所

大賞 自由テーマ部門



TOKYO CORK PROJECT  
株式会社GOOD DEAL COMPANY